



県北教育事務所 社会教育だより

つながれ KENPOKU

令和6年7月23日 発行

今回は、福島市学習センター訪問の第1弾として飯坂学習センターと信夫学習センターの取組についてお伝えします。

福島市学習センター訪問

7月5日 飯坂学習センター 7月12日 信夫学習センター

【飯坂学習センター】

人と人の「つながり」づくり



「地域づくり」を大切にした取組を推進しています。各講座を住民の方々に広く知ってもらうために、SNSを活用し広く情報発信に努めています。「ICA・KITA ヤングカレッジ」や「女性スクール」では、参加者の意見を事業に生かす等、利用者が主体的に運営に携わるように支援しています。地域と学校の連携にも取り組んでおり、読み聞かせボランティア活動の支援や、世代間交流事業「ニュースポーツ」、「凧作り凧揚げ大会」等を実施しています。学習相談にも柔軟に対応するなど、学習センターが地域住民の「つながり」づくりを支援しています。

【信夫学習センター】

次代への新しい「まちづくり」・「人づくり」



信夫学習センターは、幼児と保護者を対象とした「すくすくセミナー」や、高齢者教育の「寿大学」など、各ライフステージに応じた事業運営を目指しています。

特に少年教育では、小中学生に学習センターを活用してもらえるように、空き教室を利用できるように工夫しています。また、子どもたちが楽しく学べるように「わくわくクラブ」「しのぶジュニア茶道」「信夫ジュニア将棋教室」を開催しています。学習支援では、小学校と連携し、茶道やお琴の体験等も行っています。地区に住む子どもたちが大人になってからも集い、つながる学習センターを目指して取り組んでいます。

7月中には、5つの福島市学習センターを訪問します。それぞれのセンターでの取組をお聞かせいただき、日頃、職員の皆様が、利用者の皆様のために、地域の皆様のために頑張っておられる様子を少しでもお伝えできればと思います。公民館運営や事業企画のお役に立つとたいへん嬉しいです。